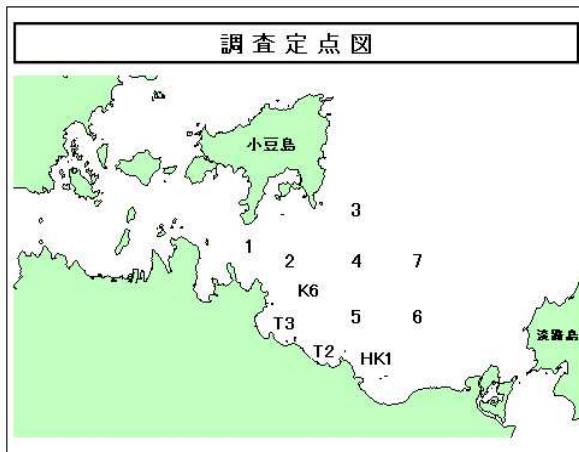


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2017. 10号)

香川県水産試験場 龍満
TEL: 087-843-6511

調査日: 2017年10月5日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

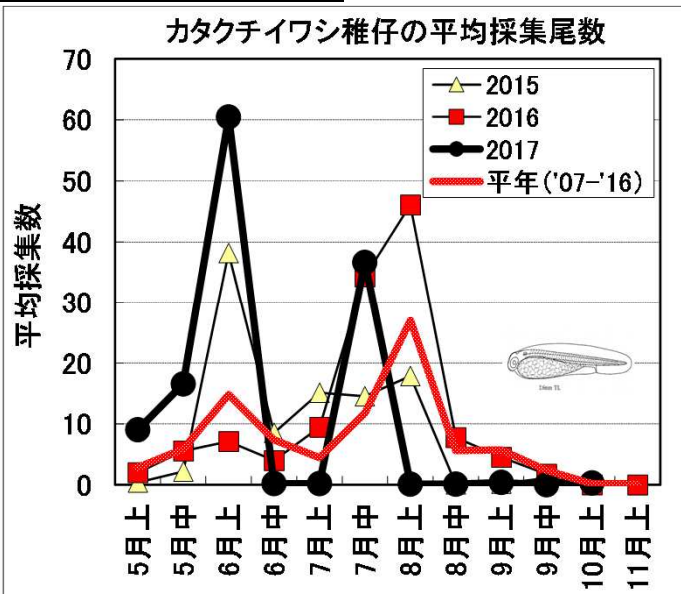
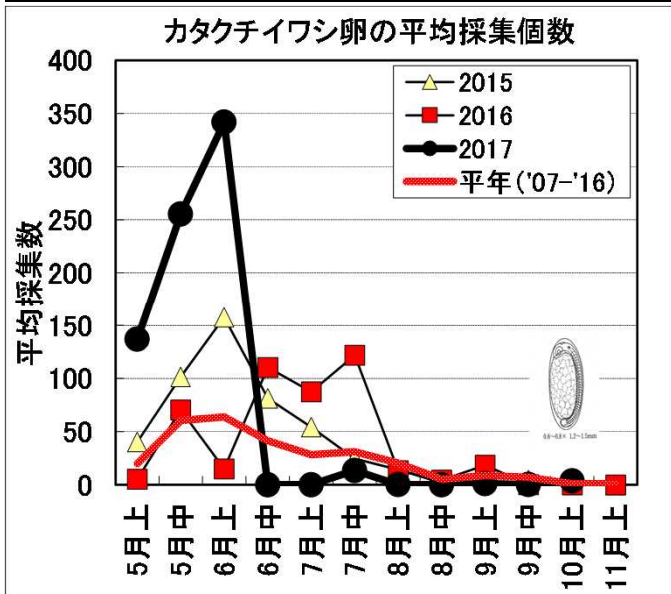


【カタクチ卵】 定点別出現数

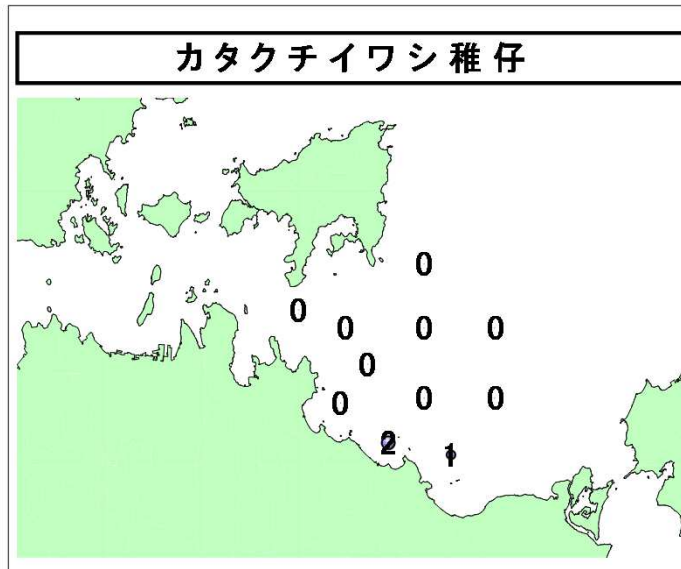
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2015.10.2	0	2	0	0	0	0	0	27	4	0	1	3.1
2016.10.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2017.10.5	0	0	0	0	0	0	0	12	1	25	0	3.5

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2015.10.2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.1
2016.10.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2017.10.5	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0.3



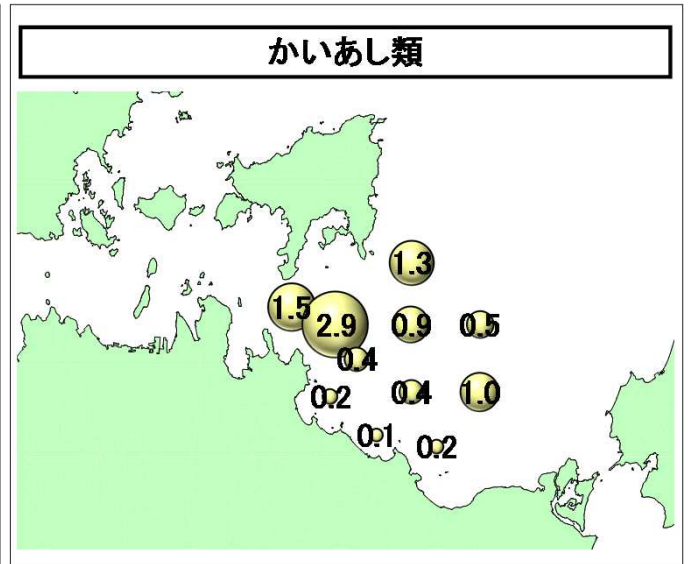
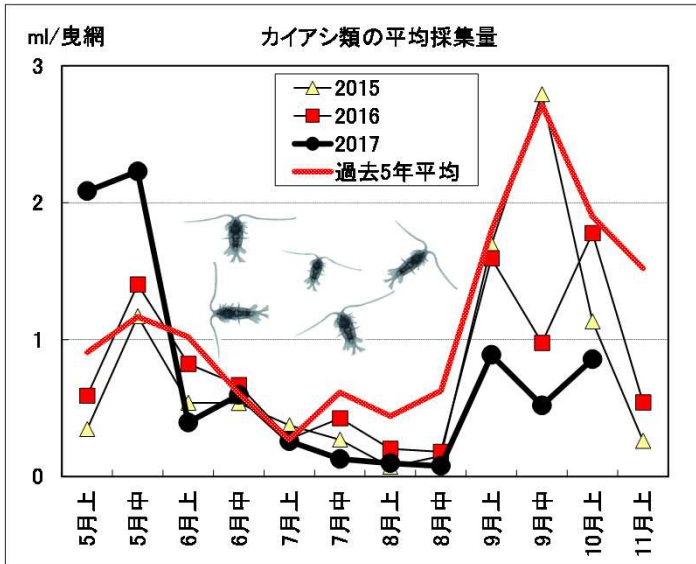
* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



播磨灘11定点における平均出現数は、卵が3.5個で、稚仔が0.3尾で、いずれも低水準ですが、複数の定点で出現しました。卵・稚仔ともに、引田沖から津田沖にかけての沿岸域に近い定点で出現しました。

餌料生物として重要なカイアシ類は、前回よりは増加しましたが、平年の水準を大きく下回っています。

【参考】



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は11月2日の浅海定線調査に合わせて実施予定です。